

6. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）

（－：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (東海)	◎	－	－
	○	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスオミクロン株は後1か月もすればピークアウトすると思うので、そこからは回復していく。重症者数、死者数共に少ないので、大した状況にはならないと思う。
	○	一般小売店 [高級精肉] (常勤監査役)	・新型コロナウイルスをコントロールできる世の中であってほしいという希望的観測である。
	○	百貨店（経理担当）	・新型コロナウイルス感染症はピークアウトし、入社・入学や行楽の関連消費が、強い反動消費として盛り上がるのが期待される。一方、原材料高などに伴う広範な値上げが消費の足を引っ張り、景気はやや良くなる程度の改善にとどまると考える。
	○	百貨店（経理担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株の影響は、早く終息に向かうと思われる。
	○	百貨店（営業担当）	・まん延防止等重点措置が解けて、3回目のワクチン接種が進めば、回復に向かうと予想される。
	○	百貨店（業績管理担当）	・10～12月の売上が好調に推移しており、客の購買意欲が高いことが分かった。足元の感染状況が3か月後までに落ち着いていれば、また景気は回復していく。
	○	百貨店（計画担当）	・新型コロナウイルス新規感染者数は増減があるので、足元よりは来客数も増え、買上意欲も上昇していくと思われる。
	○	スーパー（総務）	・新型コロナウイルスの感染拡大により、外食や旅行等が控えられて巣籠りが増える結果、スーパーでの買物需要が増える。
	○	コンビニ（エリア担当）	・足元の新型コロナウイルスオミクロン株の悪い状況は、長くは続かないと思う。
	○	コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスの感染状況次第であるが、第6波が収束あるいは新規感染者数の減少がはっきりしてくれば、また景気は上向くものと思う。
	○	コンビニ（店長）	・現在みられる新型コロナウイルスオミクロン株の爆発的な感染拡大も、十分対策は講じた上で、感染しやすい人が一通り感染してしまえば、どこかで減少に転じる。2か月先では依然厳しい状況かもしれないが、3か月先には人流も通常モードになる可能性があるかと判断する。自宅でリモートワークをしている人がランチタイムに外出してくれるかが肝要である。
	○	コンビニ（商品企画担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株の拡大もピークアウトを迎えているとの想定から、景気は回復すると予測する。
	○	コンビニ（店員）	・春で暖かくなると出掛ける人が増えるため、来客数が期待できる。
	○	家電量販店（フランチャイズ経営者）	・新型コロナウイルスオミクロン株が2月にピークアウトすれば、来客数は伸びるのではないかと。今まで外出を控えていた慎重派にも購買意欲が戻ることを期待する。
	○	乗用車販売店（営業担当）	・業界の繁忙期に入り、取りあえず春までは購買意欲が高まっていくであろうと見込む。どこのメーカーでも新車が入ってこないという情報がニュースなどで新規客や客にも浸透してきており、先を見据えた注文が入り始めている。
	○	住関連専門店（営業担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株のまん延で、リフォーム工事等を予定の現場が一部延期となり、2月以降の新築現場等も、半導体不足等による設備機器の入荷遅れでいろいろな工事に支障が出ている。売上は、先送りか見込めない状況が出始めている。
	○	その他専門店 [貴金属] (経営者)	・これから1～2か月で新型コロナウイルスオミクロン株が終息してくれば、人流も復活し、景気も良くなると思われる。
○	一般レストラン（経営者）	・世間の新型コロナウイルスオミクロン株への対応策ができてくると思う。それによって人流も増えてくると思う。	
○	その他飲食 [仕出し] (経営者)	・今後はコロナ禍に対する割切感が出てくる。	

○	観光型ホテル（経営者）	・新型コロナウイルスオミクロン株は、南アフリカを先行事例に1か月程度で収束に向かうといわれていることを考えると、今はかなり底にあるが、2～3か月先には回復基調になり、気温も暖かくなることも影響して需要回復に向かう。さらに、政府の地域振興策やGo To Travelキャンペーンなどで勢いが高まってくると思う。
○	都市型ホテル（経営者）	・新型コロナウイルス感染症が収束して良くなる。
○	都市型ホテル（営業担当）	・まん延防止等重点措置等がなくなり、世の中が少し落ち着いてくると思われる。法人宴会、レストランでの接待や出張などの利用が少しずつ回復してくると予想している。
○	都市型ホテル（総支配人）	・第6波が短期に封じ込めれば、3月の春休みには客足が戻ると期待したい。ただし、現状では予約は入っていない。
○	旅行代理店（経営者）	・新型コロナウイルスオミクロン株が収束すれば、需要喚起がされるはずであるし、されないとどうにもならない。
○	旅行代理店（経営者）	・2月中旬には新型コロナウイルスの流行も3年目に入るので、打開策を見だして少し景気が良くなると思う。
○	旅行代理店（営業担当）	・今回の第6波では人流制限がないため、感染拡大が収束してくれば、第7波が来るまでの数か月間にGo To Travelキャンペーンや県民割の再開など支援策が実施され、短期的には需要は回復すると思う。ただし、中長期的に新型コロナウイルスがいつ収束を迎えられるかは、不透明なままである。
○	旅行代理店（営業担当）	・今までの新規感染者数の増減の周期からすると、春休み頃には一旦落ち着いていると考えられ、多少の取扱は見込めるが、それ以降の見通しは不透明である。
○	通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いてくれば、3か月前の状況に戻ると思う。
○	その他レジャー [スポーツレジャー紙]（広告担当）	・2～3か月後であれば、新型コロナウイルスの感染状況がかなり改善していると考えられる。
○	美容室（経営者）	・幾ら新型コロナウイルスといっても、春になるとさっぱりしたいということで、多少は客も増えると思う。
□	商店街（代表者）	・良いところと悪いところが半分なので、新型コロナウイルスオミクロン株の影響は半々である。
□	商店街（代表者）	・工事関連は少し上向き状態だが、一般家電商品は、来客数も少なく販売も低調である。
□	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの第6波がすぐに落ち着いたとしても、また第7波が来るのか、若しくは新型コロナウイルス治療薬が普及してくるのか等、要素次第で展開が変わってくる。いずれにせよ、まだ先が読める状況ではないのでしばらくは足元と変わらない状況が続くと思われる。
□	商店街（代表者）	・新型コロナウイルス次第である。
□	一般小売店 [結納品]（経営者）	・とにかく新型コロナウイルス感染症の収束、若しくは自粛が解けない限りはこのままの悪い状態が続く。
□	一般小売店 [土産]（経営者）	・新型コロナウイルスオミクロン株の新しい系統が、次の新型コロナウイルス変異株であろうか。
□	一般小売店 [贈答品]（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が収束に向かえばよいが、しばらくは感染に対する警戒が大きいため、3か月先も現状と変わらず、個人客の付き合いの幅は広がっておらず、法人客も華美なイベントを控えることが予想される。
□	一般小売店 [酒類]（経営者）	・まん延防止等重点措置や緊急事態宣言のたびに、解除後の飲食店での飲料販売は減る傾向にある。仮に販売量が戻るとしても時間が掛かる。消費の傾向が更に大きく変わろうとしているのを実感する。
□	一般小売店 [生花]（経営者）	・第6波が落ち着き新型コロナウイルスが収束に向かわない限り、現状からは変わらない。
□	一般小売店 [果物]（店員）	・3か月ほどでは変わらない。
□	一般小売店 [生活用品]（販売担当）	・コロナ禍の第6波の最中で、しばらくは明るい兆しがあるようには思えない。
□	一般小売店 [和菓子]（企画担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株の第6波は収束してくると思われるが、そのことだけでは景気が良くなるかどうか判断がつかない。
□	一般小売店 [書店]（営業担当）	・新型コロナウイルス感染の再拡大のため、景気は変わらないと判断する。

<input type="checkbox"/>	百貨店（売場主任）	・これから春物の時期になるが、入荷が厳しいと聞いている。定番商品も、3月入荷予定だがそこから遅延と聞いており、最近では入荷しないパターンも多い。また、来月からハイブランドシューズの値上げもあり、売上は減ると見込む。
<input type="checkbox"/>	百貨店（企画担当）	・1月中旬から新型コロナウイルスの感染拡大に伴い来客数、売上が大幅にダウンし、その後は日を追うごとに来客数減少が顕著になっている。新型コロナウイルス新規感染者数が明らかにピークを過ぎれば、消費者心理は好転すると思われるが、先が見えないため判断しかねる。
<input type="checkbox"/>	百貨店（販売促進担当）	・3か月後も今月同様で状況は変わらないと予測している。
<input type="checkbox"/>	スーパー（経営者）	・新型コロナウイルス感染症の終息なくして、回復は見込めない。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・新型コロナウイルスオミクロン株による新規感染者数が急増している。完全に新型コロナウイルスの感染拡大が抑えられていないうちは、足元の状態が繰り返されると思われる。
<input type="checkbox"/>	スーパー（ブロック長）	・1月末から新型コロナウイルス新規感染者数の急増による内食需要の高まりで、売上はやや増加しているが、新型コロナウイルスの状況次第であり、先が見えない。
<input type="checkbox"/>	スーパー（営業企画）	・まだ当面は新型コロナウイルス変異株の感染拡大が定期的に発生すると予想されるが、生活者も冷静に対処してきており、消費行動は大きく変わらないと思われる。
<input type="checkbox"/>	スーパー（販売担当）	・スーパーマーケットは必要不可欠で主に食料品は買いに来るので、売上としては変わらない。
<input type="checkbox"/>	スーパー（販売担当）	・まん延防止等重点措置等になって外出が制限されると、内食が進んでスーパーで買物をする。今後の新型コロナウイルスの感染状況に左右され、変わらないというよりは分からない。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染状況が大きくは改善していないと想定すると、春先の売上伸長時期に入っていくとはいえ、現状の低空飛行の状態が継続すると見込まれる。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスオミクロン株への対応策が具体化するまでは、現状維持と思われる。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（商品開発担当）	・新型コロナウイルスによるまん延防止等重点措置や大手自動車メーカー関連の部品調達の滞りによる来客数減少の影響が続いている。環境変化は短期的には見込めず、変わらないと予想する。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が収束してもしばらくは外出を控えるため、客が進んで来店してくれるのは、まだまだ先になると思う。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（販売企画担当）	・ファッションを楽しむ環境にない。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（売場担当）	・政府は、景気回復への対策として各企業への賃上げを要請しているが、その効果が余り期待できないと考える。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（売場担当）	・1月は、正月特売や成人式もあってかなりの来客数があったが、客単価はそれほど伸びていない。来客数が多かったことで売上は多く、今のところ予算比100%は超えている。1月後半からは、就活生やフレッシュャーズの下見が始まり、安い物を求めて転々と他の店と比べて回るようになるので、より丁寧な接客をするようにしている。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（店員）	・来客数が少なくなっているように感じる。余り期待できない。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（営業担当）	・新規感染者数の増加に伴う様々な制限が発生してきている。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（営業担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株はすさまじい感染力を発揮しているが、ある意味かかって仕方がないという風潮になり、経済活動もそれほど停滞しないと思う。新規感染者数は増えても、重症化しなければよいという流れになりそうである。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（経営者）	・半導体不足から始まった新車供給の遅れが、様々な部品の不足に広がり、正常な状態に戻るには1年ほど要するとの話もあり、不安定な状況が続くと予想する。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（経営者）	・新車、中古車共に流通が滞っている状況が続く。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（経営者）	・先への不安から、良くなる要素が見当たらない。

<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルスの感染状況にもよるが、本当に必要とされる訪問でないと客から良い印象を持ってもらえない。年度末であり新型車両の発売を機に、客にアピールはしたいがなかなか市場に活気があるとは思えない。人気車両は納期が掛かることも、購入検討のちゅうちょにつながっている。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・新型車の投入等もあり、新車の販売台数は前年並みで推移しており今後も販売は見込める。ただし、納期の関係で自社客に早めの乗換えを促進していることで早めの受注が取れてきているので、今後の新型コロナウイルスの感染状況で店舗閉鎖等があると、影響が大きくなる。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・まだまだ不透明なところがあるため楽観も悲観もしていない。先の読みは難しい。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・中古車市場は暴騰しているものの、売上の比率は少ない。新車販売や修理工場への在庫予約の状況からみると、見通しは全く立たない。新型コロナウイルスのまん延で、半導体が関係しない部品の供給も遅れ始めており、客との接点も減りつつもある状況では、しばらく厳しい環境が続くと思われる。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（販売担当）	・半導体不足で車の在庫自体がかなり少ない状態となっているので、いかにその在庫を客に当てはめるかによる。ただし、かなり数が少なく厳しい状態なので、販売につながるかどうかである。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔書籍〕（店員）	・新型コロナウイルスの3回目のワクチン接種も進んでいくと思われ、新規感染者数が減少すれば人出も増えて来客数につながっていくのではないかと。ただし、新規感染者数が落ち着けば、またレジャー等に流れると思うので、書店としては厳しくなると思う。
<input type="checkbox"/>	その他小売〔ショッピングセンター〕（経理担当）	・売上は前年比1.2%増加で、前々年比マイナス3.2%である。来客数は前年比マイナス1.2%、前々年比マイナス12.1%である。
<input type="checkbox"/>	高級レストラン（経営企画）	・海外での状況からも、ある程度の時点で新規感染者数は減少に転じると思うが、生活スタイルは大きく変わっている。店舗や企業により差が出ると予想され、ウィズコロナ、アフターコロナの対応が必要である。全体としての改善までには届かない。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（経営者）	・まん延防止等重点措置が適用され、土日の来客は例年どおりであるが平日は落ち込んでいる。2～3か月先は、少し先が見えてこない。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	・予想が付かない。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（スタッフ）	・新型コロナウイルス第6波の山がみえていないので、ここ1か月は、先行きが完全に不透明な状況になる。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（従業員）	・前年のまん延防止等重点措置のときは夜8時まで、アルコール提供は全面停止で営業していた。今回は夜9時まで、アルコール提供も夜8時まで可能なので、多少客はあるが、大変である。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（従業員）	・良くなる要素が全くない。
<input type="checkbox"/>	バー（経営者）	・全く分からない。
<input type="checkbox"/>	その他飲食〔ワイン輸入〕（経営企画担当）	・新型コロナウイルスに左右されるものの、新規感染者数が減れば客は市場に戻ってくるということが、2021年12月の売上から感じられる。
<input type="checkbox"/>	観光型ホテル（支配人）	・新型コロナウイルスがそのまま猛威を振るいつけるのか落ち着いていくのかは誰も知り得ないが、このまま続けば、前々年の春先のように館内の食堂を何店舗か休業しないと追いつめられるのは必至である。いつまで持ちこたえられるか、気が気でない。
<input type="checkbox"/>	都市型ホテル（従業員）	・予約数から景気は変わらないと判断する。

□	旅行代理店（経営者）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大が収まり、前年10月のように感染の波が一旦抑えられないと、次のスタートを切れない。春休みからゴールデンウィークなどの気候が良くなった時季に感染が一旦でも抑えられるかどうかで、今年の状況がかなり変わる。2年も自粛してきたので、何とか3回目のワクチン接種の効果に期待したい。Go To Travelキャンペーンがあれば起爆剤にはなるが、一斉に行うとかなりの確率で今回のような事態になりそうなので、47都道府県が順番に始めてはどうか。県民割や隣接県民割は、地域の旅行会社には余り恩恵がなく有り難くないので、やめてほしい。
□	旅行代理店（経営者）	・海外では既に入国規制が緩和されつつあり、実際に国際線の運航再開が発表されている。当面の間は日本への入国者は限定的ではあると思われるが、人流は徐々に動き始めると予想される。しかし、オンライン会議や在宅勤務などの定着により、2年前の状況に戻るにはかなり時間が掛かる。また、食料品、ガソリン代等の値上げが消費に影響し、以前のようにデパートで開店前の行列を見ることは減ってきている。
□	タクシー運転手	・当地でも新型コロナウイルスの新規感染者数が多くなり、アルコール提供自粛、時短営業や企業の会食控えなどで夜の街の状況がとにかくひどすぎる。3回目のワクチン接種もやっと始まったが、効果がどれほどなのか、効果が出て飲食店が平常に戻ればまた景気は良くなるのか、2～3か月先のことは何とも分からない。
□	通信会社（営業担当）	・現状維持が当面続くと思う。
□	通信会社（サービス担当）	・新型コロナウイルスの関係でリモートワークが増えれば、またネット回線の新規申込みが増えていくのではないと思われる。
□	観光名所（案内係）	・新型コロナウイルスの感染状況次第だと思うが、今のところ良くなりそうな要因は見つからない。
□	ゴルフ場（支配人）	・3～4月の入場者予約数は順調に推移しており、前年同日も上回っている。コロナ禍によるレストランの売上の減少は依然として続いているが、入場者数は好調なので景気は変わらないと判断する。
□	美顔美容室（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大が収まらない限り、この状態が続くと思う。
□	住宅販売会社（従業員）	・通常ならば2月は正月の来場客が成約していくが、新型コロナウイルスオミクロン株の影響もあって横ばいで、期待値まではいかないと思予想する。
□	住宅販売会社（従業員）	・2か月ほどで収束すると思われるが、先が見えてこない。
□	その他住宅〔室内装飾業〕（従業員）	・年度末に向けて、企業の設備投資で改装工事の受注を控えている。
□	その他住宅〔不動産賃貸及び売買〕（営業）	・まん延防止等重点措置がこのまま続くと、繁忙期の見込みが全く確定できないので景気は予測できない。
▲	商店街（代表者）	・とにかく人流が極端に減少しているので、どうしても来客数の増加には持ち込めない状況である。
▲	商店街（代表者）	・自社業界では春休みまでは閑散期に入り、まん延防止等重点措置の影響もあり、今後は余り期待できない。
▲	百貨店（総務担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株による感染拡大はまだ続くような状況が想定され、消費者の外出自粛も継続すると思われる。まだまだ寒さも厳しく、春物商材の動きも乏しくビジネス客も低水準の動向であり、なかなか厳しい状況が続くと想定される。
▲	百貨店（営業担当）	・まん延防止等重点措置になり、急激に来客数が減った。
▲	百貨店（販売担当）	・2～3か月前は新型コロナウイルス感染も落ち着き、好転の期待があったが、新型コロナウイルスオミクロン株の激増で明るい兆しはみえなくなった。
▲	百貨店（販売担当）	・年末にやや回復したが、まん延防止等重点措置で来客数は減っている。
▲	スーパー（店長）	・値上げラッシュでの物価の上昇は避けられない。最低賃金は上がっても、世帯の収入は増えていかない。
▲	スーパー（店員）	・引き続き商品の値上げが多く発生する。
▲	スーパー（店員）	・大豆や油の価格が高騰し、値上げのニュースがどう響いていくか。ガソリンも依然高値を維持しているので、野菜全般の仕入価格も高くなり、価格転嫁せざるを得ない状況になっていくと予想される。

▲	スーパー（支店長）	・新型コロナウイルスの感染が収束しない限りはイベント等も行えず、物販も良くなることはないと思っている。まだまだ苦しい戦いは続くと思われる。
▲	コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスオミクロン株の拡大で、人流が制限されてきているので、客足が鈍り売上に影響が出る。また、食堂等では調理に人がなるべく関わらないオペレーションへ変更され、素材、調味料の売上が減り、冷凍商品やレトルト商品への移行がみられる。
▲	コンビニ（企画担当）	・新規感染者数が急増しており、従業員にも感染者や濃厚接触者が出ているため、今後の状況によっては休業しなければならない事態も考えられる。営業を継続する店舗の優先順位を検討する必要がある。
▲	コンビニ（本部管理担当）	・現時点で小売へ定量的な悪影響がある状況ではないが、予断を許さない。将来の景気に関して楽観視できるような材料はないように感じる。
▲	衣料品専門店（店長）	・寒さが強まっており防寒関連の購入が目立つが、客の節約志向の強さを感じる。
▲	乗用車販売店（経営者）	・3月までは決算シーズンで堅実な動きを見せるが、4月以降は急激に販売量も減少していくであろう。
▲	一般レストラン（経営者）	・政府の新型コロナウイルス感染症対策の影響で、現状が良くなるとはとても思えない。とにかくワクチン接種ありきである。
▲	旅行代理店（従業員）	・販売量が減ることが予想される。
▲	通信会社（企画担当）	・一気に新規感染者数が増えた影響が出ており、新規感染者数が減れば、もう少し戻ってくると思う。戻るといっても回復までには至らず、やや悪化くらいのレベルではないか。
▲	テーマパーク（職員）	・新型コロナウイルスの影響がどこまで続くか、先が見えない。
▲	テーマパーク職員（総務担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大が予想以上で、様々な業務で人材不足が出始めている。ワクチン接種も限定的で感染防止効果への期待が大きすぎる。
▲	理美容室（経営者）	・客との話では、もう余り出歩かないし金も使わないということなので、段々と景気は悪くなると思う。
▲	美容室（経営者）	・新型コロナウイルスオミクロン株がまん延しており、先がどうなるか分からない。新型コロナウイルス次第である。
▲	理容室（経営者）	・これからまだまだ物騒な気がする。気を緩めないで注視している。
▲	その他サービス〔介護サービス〕（職員）	・原価アップとなっても、介護保険サービスのレンタル価格にはなかなか反映させられない。それどころか価格上限制度もあって、実入りが減る一方である。品質を維持するのに四苦八苦している。
▲	設計事務所（経営者）	・2～3か月後に実施設計になる計画案件が、今のところ少ない。
▲	設計事務所（職員）	・給料が上がるという話はあっても、景気が良くなる話は全く出てこない。実質的にもうかりそうな要因は全くない。
▲	住宅販売会社（従業員）	・資材不足が解消されれば、少し仕事が増えるかもしれない。
▲	その他住宅〔住宅管理〕（経営者）	・建築資材価格も人件費も上がり、将来の景気についてはまだまだ厳しい状態が続くと思われる。
×	スーパー（販売担当）	・国際情勢の不安から様々な商品の値上げがあり、また、新型コロナウイルスで縮小した製造業の人手不足による生産縮小が、購買意欲の低下に確実に影響を及ぼしていく。小売では、販売手法を変えていくくらいでなければ、数字の停滞を免れなさそうな状況である。
×	コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスオミクロン株の新たな系統が出ているという状況では、売上の回復がいつになるのか見当が付かない。
×	乗用車販売店（従業員）	・すぐに新型コロナウイルスの感染が収まるとは思えない。収まってもすぐに景気が回復するより、今は非常にひどい状況のため、悪い状態が続くと思う。
×	旅行代理店（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が収束するか、県や国からの旅行への補助金が出ない限り、受注が増える見込みはない。
×	タクシー運転手	・新型コロナウイルスオミクロン株のまん延防止等重点措置でどん底であり、生活ができない。
×	テーマパーク（職員）	・新型コロナウイルスオミクロン株が収束するまでは難しい。

	×	レジャーランド（職員）	・まん延防止等重点措置や緊急事態宣言等が発出されているか否かで大きく異なるが、客足が戻り始めるのは、早くても3月末、春休み頃からになると推測している。
	×	パチンコ店（経営者）	・コロナ禍の影響と管轄当局の規制強化により、業界全体が低下傾向であり将来的に暗い。
企業 動向 関連 (東海)	◎	不動産業（経営者）	・首都圏や大都市圏の物件不足による価格の高騰から、良くなると判断する。
	○	化学工業（営業担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染状況は落ち着く見込みであり、電子材料薬品の出荷が回復する見込みである。
	○	化学工業（総務秘書）	・新型コロナウイルス感染による重症者が減少してきているという。多くの人が感染することは集団免疫に近づいていることでもあり、出口がみえてくる時期と考える。
	○	輸送業（従業員）	・期待を込めて2～3か月後には新型コロナウイルスの感染が落ち着くと思いたい。せっかく前年末に上昇モードになったので、今回の停滞時期は短めで済んでほしい。
	○	輸送業（エリア担当）	・年が明けてから極端に荷物が減っているように感じるが、他社に流れているわけではないので、一時的な動きと思われる。
	○	通信業（総務担当）	・世の中が感染対策としていろいろ経験することで、対応策への確信が生まれてきて、経済を回転させることができている。今は次々発生する新型コロナウイルス変異株に対して我慢の時期であって、感染拡大が収まることで景気回復につながるはずである。
	○	金融業（従業員）	・新型コロナウイルスの感染が2月初め以降に収まるというような予想が出ていることから、再び景気が良くなっていくように思う。
	○	不動産業（経営者）	・今後は新型コロナウイルスの新規感染者数が、増加傾向から減少傾向になっていくと思われ、外出や遠出をする人が徐々に増加すると予測している。売上は徐々に回復していき、前年を上回る状況になっていくと見込んでいる。
	○	その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	・ゴールデンウィーク頃には新型コロナウイルスも収まり、景気も好転してくると考える。それまでに新製品を立ち上げ完成させたいと思っている。新製品はほぼ完成している。
	□	窯業・土石製品製造業（社員）	・原料全てが値上がりしているが、客にもその認識があるため製品の値上げ交渉がしやすい。しばらくは現在の好況が続くそうである。
	□	金属製品製造業（経営者）	・今後の引き合いも横ばいで、良くなる兆しはない。
	□	一般機械器具製造業（経営管理担当）	・受注量、販売量の見込みから、変わらないと判断する。
	□	一般機械器具製造業（営業担当）	・新型コロナウイルス感染拡大が原因で再び移動が制限されるようになり、北米では代理店が客を訪問することができない。思うように情報収集ができず、止まってしまっているプロジェクトや商談が増えている。
	□	電気機械器具製造業（経営者）	・前年末には客先業界で復活の兆しがあったが、今年に入り新型コロナウイルスの感染状況の悪化により、先行きの見通しが立たなくなっている。3か月先も不透明な状態である。
	□	電気機械器具製造業（営業担当）	・余り変わらないか、場合によっては悪くなりそうである。
	□	輸送用機械器具製造業（品質管理担当）	・仕事量は非常に減少しているが仕事単価が変わらないので、足元から収入が非常に減っている。
□	輸送用機械器具製造業（管理担当）	・新型コロナウイルスが継続してまん延し、景気の下降が続くと思う。	
□	輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いたとしても、部品の生産がすぐに垂直に立ち上がってくるわけではないため、3か月先は今よりはましであろうが、かつての調子で生産量が伸びていくとは思えない。	
□	建設業（経営者）	・政治が安定しないため、先の見通しが立たない。新内閣にはしっかりかじ取りをしてほしい。	
□	建設業（営業担当）	・本業は衛生面に携わる仕事なので受注が減るということはない。しかし、それ以外の工場の安全管理や公共の案件の仕事は、新型コロナウイルスの感染状況次第で予算がどうなるのか、今の情報では見当が付かない。	

□	輸送業（エリア担当）	・身の回りのあらゆる商品や製品で、新たな発表はほとんどない。世間の経済活動が停滞しているので、新商品・新製品を発表しても売れないだろうという見通しがあるのかもしれない。しかし、研究開発部門も、動きを止めている状態から急に活動しても新製品を生み出すまでにはまた時間が掛かる。まだまだこの先2～3か月は、景気の悪い状態が続くと思う。
□	輸送業（エリア担当）	・世間の景気や新型コロナウイルス等から考えると変わらない。
□	通信業（法人営業担当）	・第6波が襲来している。いつまでたってもモグラたたきのような政策で、新型コロナウイルスに振り回されている。ライフスタイルがこれからも変化し続ける現実を見据えて、政策も事業のやり方も変えていく必要があるが、前例主義的思考から脱却できないので、変わらない。
□	通信業（法人営業担当）	・春に向けて、電気、ガス、ガソリン等の値上げがかなり家計をひっ迫させていく。新型コロナウイルスオミクロン株もあって、なかなか上向き状況にはない。
□	金融業（企画担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大が収束に向かわないと、企業活動も十分に行えない状況が続くとみられる。また、株価が下落したままでは個人も消費にも向かいづらく、当面現在の景気が続くと考える。
□	会計事務所（職員）	・人と集まって何かしようと計画することに抵抗がある。3か月先には地元の春祭りがあるが、既に2年実施されていない。このまま新規感染者数が増えていけば、また中止になるかもしれない。そうすれば、景気の改善は先送りと思う。
▲	食料品製造業（営業担当）	・回復の兆し、要因がない。悪くなることはあっても良くなる見通しは立たない。
▲	食料品製造業（経営企画担当）	・原料、燃料関係の価格高騰と高止まりを懸念する。
▲	パルプ・紙・紙加工品製造業（顧問）	・新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、それに加えて主要原材料の値上げが発表された。取り急ぎの価格転嫁はとても無理な状況下で収益面では大きな打撃があり、景気はやや悪くなると思われる。
▲	金属製品製造業（従業員）	・春先は例年仕事が落ち着くが、例年以上に少ないのではという声と同業者や取引先から聞かれる。原材料高なのに安売りの動きもみられ、困惑している。
▲	電気機械器具製造業（経営者）	・鋼材の値上げが5割増しに近い。価格転嫁をし切れていない部分があり、今後の継続に難が発生しそうである。
▲	電気機械器具製造業（総務担当）	・半導体の供給不足、保守サービスの多様化、技術者の能力アップなど様々な観点からの要求への対応能力が問われ、そこに追い付いていけないと受注が困難になるという悪循環に陥る。案件は多数あるが、忙しさばかりでもうからないという状況が続くことを危惧している。
▲	建設業（役員）	・前年末から特に建設資材が高騰している。建設業としても今後の受注に影響があるとみている。住宅販売に関しては、ウッドショックなど資材高騰が売価に反映されるため、新規販売物件に客が付いてこられるか不安である。
▲	輸送業（経営者）	・物量の減少傾向に加え、運転手不足や半導体不足を主因とするトラック納入の大幅遅延が重なって生産力が足りず、売上確保に支障が生じると見込まれる。
▲	輸送業（従業員）	・燃料費の高騰、半導体の不足が解消されていない。
▲	金融業（従業員）	・ガソリンや食料品が値上がりし、これから物価上昇が懸念されている。そういったニュースがたくさん流れれば流れるほど、皆が財布のひもをなかなか緩めなくなる。今後、一般の客は買物ではなるべく金を使わないように考えるので、景気は余り良くない傾向にいくと推測する。
▲	不動産業（開発担当）	・不動産に係る税制改正などもあり、少し弱含むと感じている。
▲	広告代理店（制作担当）	・3回目のワクチン接種が完了するまで予断を許さず、それが広告の受注にも大きく関わってくるため、当分は企業側も自粛体制を続けていくことが予想される。
▲	新聞販売店〔広告〕（店主）	・現状の新型コロナウイルス対策をみると、折込チラシの受注が少なくなると思われる。
▲	その他サービス業〔ソフト開発〕（社員）	・イベントの中止が今年もちらほら聞こえてきており、直接販売に影を落とす。



	×	出版・印刷・同関連産業 (営業担当)	・コロナ禍で景気が良くなる材料は全くなく、今後も新型コロナウイルス次第ではどんどん悪くなっていくのではないかと見えない状況である。
	×	鉄鋼業 (経営者)	・新型コロナウイルスの感染状況と春節や北京オリンピックでの中国からの工業品出荷の減少が考えられ、良い要素がない。
	×	公認会計士	・足元の要因による影響が、中堅・中小企業では今まで以上に具現化すると見込まれる。
	×	会計事務所 (職員)	・部品不足や仕入価格の上昇が続いており、売上減少、利益率が悪化している状態が続いている。この先も新型コロナウイルスの感染再拡大により、客先の小売店での感染者の発生による休業や来客数減少などが見込まれ、更に厳しい状況となりそうである。
雇用 関連 (東海)	◎	職業安定所 (職員)	・新型コロナウイルスオミクロン株の新規感染者数がピークを迎え、しばらくは新型コロナウイルス変異株が流行しないと思われる。
	○	アウトソーシング企業 (エリア担当)	・自動車製造各社から、1月までの一時稼働停止で減産した分を2～3月でばん回生産を行うと発表された。しかし、労働者不足であり、現在海外からの新規入国がストップしており、人手不足の問題はしばらく継続しそうである。
	○	職業安定所 (職員)	・新型コロナウイルスオミクロン株について、海外では新規感染者数が減少に転じている国があるとのニュースもあり、国内においても足元の感染状況から改善し、それが経済活動へ大きく影響すると考えられる。
	○	職業安定所 (職員)	・輸送用機械器具製造業については、半導体等の部品供給も改善傾向にあり、徐々に新型コロナウイルス発生前の状況に向かっていくかと思われる。一方、新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大が止まらないことや原材料高もあり、先行きに不安要素がある。
	○	職業安定所 (職員)	・新型コロナウイルスオミクロン株がピークアウトした後は、やや上向きになると思われる。
	○	民間職業紹介機関 (窓口 担当)	・新型コロナウイルス第6波の状況下で景気の回復が予想ほどは見込めず、一部に新型コロナウイルス関連の求人数は増えているものの、新規の長期求人数は落ち着いている。年度の替わり目には、景気にかかわらず人員交代で求人数が増える見込みである。
	○	学校 [専門学校] (就職 担当)	・前年は新型コロナウイルス感染症の影響でインターンシップや採用試験の回数が減少し、採用に抑制を感じていたが、前年と比べ回復してきている。看護の医療系学部である本学にとっては堅調である。
	□	人材派遣会社 (経営企 画)	・新型コロナウイルスの感染再拡大の状況ではあるが、直接的な影響は軽微と見込む。
	□	人材派遣業 (営業担当)	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染が収まらない限り回復の見込みは立たないと想定する。
	□	人材派遣会社 (社員)	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減らない限り、良くはならない。
	□	人材派遣会社 (企画統 括)	・新型コロナウイルスオミクロン株が猛威を振るい、感染拡大に歯止めが掛からない状況であり、先行きが全く不透明である。
	□	人材派遣会社 (営業担 当)	・主要客の自動車メーカーでは、内製化推進に伴う外部活用削減の動きは継続される。
	□	人材派遣会社 (営業担 当)	・新型コロナウイルス新規感染者数が減少に転じて一定数以下にならないと、景気の業種による偏りは緩和されない。
	□	人材派遣会社 (営業担 当)	・第6波の状況も終息がみえず、先行き不透明感が強い。
	□	人材派遣会社 (営業担 当)	・足元の求人数は増えているが、新年度になった頃には一旦採用がストップすると考える。
□	新聞社 [求人広告] (営 業担当)	・半導体の供給状況と新型コロナウイルス感染の状況次第である。	
□	新聞社 [求人広告] (営 業担当)	・実際のところは分からないという感覚である。新型コロナウイルスオミクロン株の終息がみえれば上向くと期待できるが、時期的にはまだ予測が付かない。	
□	職業安定所 (所長)	・新型コロナウイルス感染症の影響による製造業の部品不足や原材料の値上がりなどのなかでも、新規求人数は持ち直しの方向で推移してきたが、今後、第6波が企業の求人活動にどのような影響を及ぼすのかは不透明である。	

□	職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの感染状況、半導体不足による生産減少や原油高の影響などで先行きは不透明である。
□	職業安定所（次長）	・産業別新規求人数を前年同月と比較すると、基幹産業である製造業を始め全ての産業で増加している。今のうちに人材を確保しようとする動きがあるものの、新型コロナウイルスオミクロン株の急激な感染拡大がどの程度マイナスの影響を及ぼすかは未知数である。引き続き新型コロナウイルス第6波の感染拡大状況を注視していく必要がある。
▲	人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルスオミクロン株により新型コロナウイルス新規感染者数が拡大する。
▲	民間職業紹介機関（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大により面接設定などが長期化するケースも出ており、不透明な状況である。
×	—	—